



CAGLIERO 11

カリエロ



180 2023年 12月

サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



友人の皆さん、

ドン・ボスコ聖母訪問会 (VSDB) は、1983年、故ヒューバート・テロザリオ師、SDB、神学博士 によって、インドの上シロン・メガラヤ、ノクセにある聖母修道院で創立されました。テロザリオ師は、当時、シロン・グワハティ大司教区の大司教でした。

修道会のモットーは、「行け、弟子よ」(マタイ28・19)です。会が創立された主な目的は、貧しい人々、助けを必要とする人々に手を差し伸べ、すべての人、特に、農村や、都会の貧しい地区の若者に、愛のメッセージを運ぶことです。

神から頂いた使命を意味深く果たすため、自分たちのカリスマと使命に目を向け、何をしているかよりもどのように生きているか、折々に自己評価を行うことはとても大切だと思います。サレジオ家族のメンバーにとり、この司牧的に関わる情熱を頂いたことは恵みです。

私たちの模範、母マリアのように、主に仕えるとき、私たちが徹底的に奉仕を続けることができますように!

■ ドン・ボスコ聖母訪問会
VSDB
総長 メイベル・ダール

私たちの救いのために受肉された!



私たちが主日ごとに唱える使徒信条は、クリスマスが近づくにつれ、特別な響きをもつようになります。「主は、私たち人類のため、私たちの救いのために……おとめマリアよりからだを受け、人となられました」。救いは、自分を向上させることでも、自己実現の完成でもなく、健康で、経済的に豊かであること、あるいは諸国の人々が平和的に共存することでもありません。救いは、**三位一体との完全な一致**です。三位一体には名と顔があります。それはイエス・キリストです。「神と人との唯一の仲介者」(1テモテ2・5-6)として、イエスは、神との友情を完全に回復させてくださる「道」です。でも、それだけではありません。救いは、信仰のうちに生まれ、洗礼において具体的に表され、恵みを礎とし、希望によって支えられる、神との生きた絆です。それは私たちの人生を通じて、愛のわざによって成長し、栄光のうちに実を結びます。

私たちの救いは、**常に神が主導されます**。私たちは救いを自分の力で獲得したり、救いにふさわしかったりするわけではありません。神が先に働かれ、ご自分に応えるよう私たちの心を動かされます。しかし、神の招きを受け入れるか、あるいは拒むかは、私たちの自由です。救いの賜物は、人間の友情のように、長い時間をかけて愛することを選び続けることにに関わり、私たちの協力が必要です。イエス・キリストが生き、愛されたように、私たちも再び、生き、愛することができるように。イエス・キリスト、唯一の仲介者、救いの道である方(使徒言行録4・12)は、ご自身の体、教会のうちに現存されます。そのため教会は、私たちが救いを受けるために必要な手段なのです。

イエス・キリストのことも、福音、教会のことも、耳にしたことのない人々についてはどうなのでしょう? 諸文化、諸民族、科学、技術や、諸運動において、善なるもの、真実なものは「みことばの種」(第二バチカン公会議、公文書「教会の宣教活動に関する教令」AG 11)であり、「**すべての人を照らすあの真理そのものの光**」(同「キリスト教以外の諸宗教に対する教会の態度についての宣言」NA 2)です。そのように、神は愛と慈しみのうちに、人々が恵みを受けられるようにされます。その人々は、自らの過ちによらずに、イエス・キリストとキリストの教会を知る機会がなかったとしても、誠実に神を求め、日々の生活の中で、良心の声を通して知る神のみ旨を行おうと努めます(同「教会憲章」LG 16)。

聖霊は、「**神に知られている方法で**」(同「現代世界憲章」GS 22; AG 17)キリストの過越の神秘に触れ、知らない救い主によって救われる可能性を、その人々に差し出されます。彼らが知らなくとも、変わることなくその人々を愛される救い主によって。一方、このことは、その人々と福音を分かち合う使命から私たちを免除するものではありません。救いの賜物を頂いた私たちは、愛に燃えるイエスのまなざしを自分のものとします。その愛はご自分の民皆を抱擁し、イエス・キリストの福音を告げ知らせるようになさせるのです。

■ 宣教顧問

アルフレッド・マラヴィジャ神父 SDB

振り返りと分かち合いのために

- 私は日々、神との友情において成長する努力をしているだろうか?
- 福音のメッセージを分かち合う私たちの使命を、自分はどうのように生きているだろうか?



Cagliero 11 (カリエロ11)の全バックナンバー: <http://salesians.jp/library/cariero>

「チコス デラ カジェ」： ストリートチルドレンと共にある サレジオ会員とボランティア



ロバート・ガルシア神父, SDB

ロバート神父様、エスメラルダスのサレジオ会事業の責任者として、ストリートチルドレンのために働いておられますね。子どもたちのニーズに応えるため、どのように助けているのですか？

基本的な教育、保健、食べること、人間的成長、養成の機会が乏しいことは、ほかのさまざまな問題の引き金になります。例えば、学校をやめてしまったり、勉強についていけなかったり、家庭崩壊、ホームレス、児童虐待、犯罪集団に加わってしまったといった問題です。したがって、私たちがサレジオ会員として、この社会的実情に対する適切な、質のある応答をすることは、必須なことなのです。エスメラルダスにあるサレジオの事業「チコス デラ カジェ」は27年以上にわたって、社会から疎外された地区の青少年のために働いてきました。毎日オラトリオとして開かれている2つの拠点があり、私たちはそこで400人の子どもたちと出会います。

満たされていない教育の大きな需要を前にして、一つの選択肢となる質の高い教育を提供すること、サレジオの共同体と事業は、これを組織の指針としました。神に感謝、私たちは管区と管区組織から経済支援を受け、それによって予算の大部分がまかなわれ、ほかに地方自治体の補助や海外支援によって一部がまかなわれています。組織としてのこのような枠組みの中で、ドン・ボスコの予防教育法を通して、私たちはあらゆる教育活動を展開しています。

エクアドルは、ボランティアと共に事業を行っていることで知られています。管区の恵まれない青少年のための活動に、ボランティアはどのように関わっているのですか？

ボランティア（国内、海外からのボランティア）の貢献のおかげで、私たちは事業の司牧上の目的を達成できます。それは、他者に、主に、もっと多くをささげようとする若者たちです；ボランティア活動を通して、奉仕の召命を深く生きたいと願う若者たちです。毎年、4人の若者がやって来て、共同体で暮らします。サレジオ会員、信徒協働者と共に、この弱い立場に置かれている人々のために働くのです。ドン・ボスコの夢は、エスメラルダスで、神のみ旨にかなった世界を実現させるため、教育者やボランティアと共に働くサレジオ会員を通して実現します。この町でのサレジオ会事業による教育的提案は、教育と信仰がもつ変容させる力の、感動的なあかしとなっています。困難や排除に満ちた世界で、私たちの保護者ドン・ボスコの献身と愛は、変わることなく私たちを照らし、一人ひとりすべての子ども、若者に、それぞれの可能性いっぱい成長し、希望と機会に満ちた未来を築く権利があることを、思い起こさせるのです。

ロバート神父はエクアドル管区（ECU）でさまざまな役職を担ってきました。召命担当、**宣教促進担当PDMA**—ボランティア活動責任者、青少年司牧担当、**副管区長**など。現在、管区評議員、サレジオ会の**エスメラルダス**におけるプロジェクト「チコス デラ カジェ」の責任者。



出典：3月、世界保健機構による

障害について

- 推計によると、顕著な障害を負う人は約**13億人**。
これは世界人口の**16%**、すなわち6人に1人。
- 障害者によっては、障害の無い人に比べ、**寿命が最大20年短い**。
- 障害者はしばしば暴力や偏見にあい、医療へのアクセスの際、困難を経験する。
例えば、障害者は障害の無い人に比べ、**移動が15倍困難**であり、アクセスの手段を見いだせないことがある。



12月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

障害者のために

エクアドルの、障害をもつサレジアン・シスターズ、サレジオ会員のために。

障害をもって暮らす人々が、社会の中心にあって関心を向けられるよう、祈りましょう。

そして、さまざまな組織が、障害者の積極的な参加に価値を見いだす統合的なプログラムを提供しますように。| 教皇フランシスコの祈りの意向 |

エクアドルのために

